

2010.12.9 (Thu)

15:00～17:30

シンポジウム これからの外国語教育

大阪大学 言語文化研究科・外国語学部・サイバーメディアセンター・
国際教育交流センター・世界言語研究センター 共催

開催趣旨： 2007 年の大阪大学・大阪外国語大学の統合にともない、25 の専攻語をもつ外国語学部が本学に加わりました。従来の全学共通教育で行なってきた外国語教育も、第 2 外国語の選択肢が増えるなど、新しいカリキュラムがスタートしています。他方で、CALL など情報通信技術（ICT）を生かした学習・教育の方法も広がり、多くの可能性を示しています。そして現在、大阪大学の外国語教育のさらなる改革が全学的に進められようとしています。こうした状況を踏まえつつ、今回のシンポジウムでは、言語文化研究科、外国語学部、サイバーメディアセンター、国際教育交流センター、世界言語研究センター協賛の FD 活動の一環として、これからの外国語教育の可能性と課題を考えていきます。

場所： 大阪大学 豊中キャンパス 言語文化研究科棟 2階 大会議室

開会の挨拶

第1部 テーマ：到達度目標について

報告 1 外国語学部全体の英語教育における外部検定試験の導入をめぐる

―到達度評価と能力別クラスに向けたケーススタディ― (15:05～15:30)

上田 功（言語文化研究科・外国語学部）

岡田 新（言語文化研究科・外国語学部）

報告 2 外国語教育における到達度評価制度

―CEFR を参照した外国語学部の試み― (15:30～15:55)

真嶋 潤子（世界言語研究センター・外国語学部）

質疑応答 (15:55～16:10)

第2部 テーマ：半自習型 e-learning 授業の実践報告

報告 3 「実践英語」における e-learning 試行の現状報告 (16:20～16:45)

山田 雄三（言語文化研究科）

報告 4 e-learning 英語クラス ―授業実践と効果の検証 (16:45～17:10)

小口 一郎（言語文化研究科）

質疑応答 (17:10～17:25)

閉会の挨拶

詳しくは下記 HP をご覧ください

<http://www.lang.osaka-u.ac.jp/lc/index.cgi?page=20101209>